

令和6年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象：1歳児クラス)

モニカ茗荷谷駅前園



テーマ

自然物の色

設定理由

色に興味を持ち始め、見つけた物の色を言ったり、聞いた色を身の回りから探してみたりと楽しむ姿が見られたため。

とくに散歩先に出かけると、信号機の赤・青・黄に気づき、毎日見かける車の色を言ってみたり、公園に落ちている落ち葉の色にも興味を示していたから。

対象クラス

1歳児クラス・10名

活動の狙い

自然の中からの色の発見

キーワード

「何色かな？」 「何色に見える？」
「同じ色はどれ？」 「一緒だね」

活動期間

令和6年12月～令和7年2月

活動回数

計3回

活動①

令和6年 12月13日の活動

環境構成

場所：公園
散歩先の自然の中にある色を見つける。
子どもたちがどんな色を知っているか、発見したりするのか。
色に対してどのような反応や表現が見られるか。
見つけた自然物を白画用紙の上ののせてみる。
見つけた自然物を持ち帰る（2回目に使用）。
日頃行き慣れた公園で自然物の色を探す。

準備物

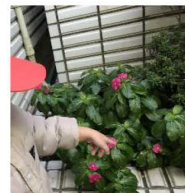
白画用紙

▼ドキュメンテーション

「何色があるかな？」

R7年1月9日 いちご組

色に興味を持ち始めた子どもたちは、散歩で目にした自然物を色で表現するようになりました。



「びんくのおはなかわいいね」



「あか」



「おれんじ」



「いっしょ」



「何色が隠れているかな」と問いかけ
てみると…
「はっぱのなかにみどりがあったよ」



「これはこっち」

散歩で自然物に触れて遊ぶことが大好きな子どもたち。発見したものを色と結びつけて楽しみ、言葉での表現も具体的になり、伝えたい気持ちから保育者とのやり取りもさらに楽しむようになりました。色探しに画用紙や遊びを取り入れると見つけた意欲から真剣に探し出す子もいました。発見した時の喜びの表情はいつも素敵です。その瞬間にたくさん出会えました。

次は室内で持ち帰った自然物と色素材を組み合わせでどんな表現が生まれるか楽しんでみたいと思っています。

振り返り

落ち葉にとっても興味を持ち、「何色があるかな？」の問いにそれぞれが見て感じた色を言い保育者に見せにきた。

画用紙を置くと、埋めつくすように落ち葉を置く子や砂と石と葉を重ねて置いたりする子がいた。玩具を葉と一緒に置いてみてじっくり見ている子もいた。

個々に落ち葉と色を楽しんでいたが、互いに見つけた色を1枚の画用紙の上に葉の色や形に分けて置く姿も見られた。色だけではない発見をして、友だちと一緒に分けて置く姿は予想外であった。保育者は自然物の色にこだわりすぎていたことに気付いた。

「何色が隠れているかな？」と聞いてみると、探るのが好きな子どもは探し始め「はっぱのなかにみどりがいたよ」と発見した嬉しさが伝わってきた。問いを意識することの大切さを改めて感じる事ができた。



活動②

令和7年1月14日の活動

ねらい

自然物と色素材の組み合わせ

設定理由

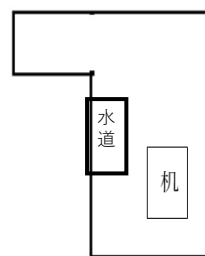
自然物の色を見つける中で画用紙を使用したところ、その上に葉を並べたり、同じ色同じ形の葉を分けたり、葉と砂や石を組み合わせたりと子どもたちの遊びはさまざまであった。公園では自然物をままごとの材料にしたり、大量の落ち葉を集めて踏む音を楽しんだりシャワーのように降らせる遊びが主になっていた。

今回は、持ち帰った自然物を保育室で他の色素材と組み合わせてみたいと思った。

準備物

白模造紙 | カラーセロハン | 机 (1台)

環境構成



場所：1歳児保育室（3～4人で3回行う）

時間帯：夕方の掃除後

持ち帰った自然物を白模造紙の上
にのせてみる。

自然物とセロハンを下敷きに入れ、
自然物と自由に組み合わせる。

（事前に日常の中でセロハンに触
れている）

◆1歳児保育室と廊下を遊びス
ペースにする。

◆すくわく活動は保育室で行う。

◆保育室にある家具は裏返し興
味が散漫にならない工夫をする。

◆保育士（室内1人 廊下2人）

活動②：ドキュメンテーション

振り返り

白模造紙の上に本物の葉と画用紙で作った葉、カラーセロハンを置いた。先にカラーセロハンに興味を持つかと思ったが、本物の自然物から触れだす子が多かった。重ねたりちぎったり散りばめたりしてからカラーセロハンと組み合わせて遊びだした。ほとんどの子が葉の上にカラーセロハンを被せて見ていた。色が変わること気が付き、同じ色や違う色を葉に重ね合わせて、重ねすぎると下にある葉が見えなくなることを発見する子もいた。自然物は葉や石が多く表現する色も「きいろ」「みどり」「ちゃいろ」「くろ」だったが、知っている色のカラーセロハンと組み合わせたことで、「あか」「あお」「きいろ」「むらさき」

「ぴんく」など言いながら葉と組み合わせて探究する姿が見られた。

散歩に出かけた際には、周囲にある自然物や色を見つけては保育者に伝えようとするなど関心が高まりを感じる事ができた。

「何色に見える？」

R7年2月6日 いちご組

前回散歩先の公園から持ち帰った葉をカラーセロハンと組み合わせて遊んでみました。



「はっばりばり」



「あっ・・・」



「おれんじにする」

本物の葉に触れ細かくちぎっていると、隣にいた子の手から離れた青いカラーセロハンが葉っぱの上に…。

葉とカラーセロハンが重なり合ったのを見て、他の色を重ね始めていました



「いろんないろあるね」

「はっばをかくそう」

「あれ…かかれないな」

「くろくなっちゃった」



「ちゃいろになった」



「ぎゅっ ぎゅっ」↓



「おもち」「あまいよ」

葉と色素材との組み合わせは、子どもたちの色の関心をさらに深めていました。はじめはカラーセロハンを自分の目に当てて周りの景色を眺めたり、葉にカラーセロハンを一色ずつ被せてみたりする子が多かったです。段々と被せたカラーセロハンの色によって葉の色の見え方が違うことや、色を重ねすぎると葉が見えなくなったり黒く見えたりすることに気づき言葉にして表現する子もいました。

自然物とカラーセロハンを偏りなく組み合わせて遊ぶ姿は、どちらも興味を引くものだったのだと感じました。子どもたちが何に興味関心を持ち、面白い楽しいと感じながらもっと見てみたい、触れてみたい、どうなるのだろう次はどうしてみようと思える気持ちを大切にしています。

活動③

令和7年 2月17日の活動

環境構成

場所：公園

(子ども10人、職員3人)

散歩先で見つけた自然物の色にどんな反応をし前回と変化はあるか。白画用紙と2回目の活動で使用したセロハンを持っていく。

準備物

白画用紙 | カラーセロハン
カードケース

▼ドキュメンテーション

「何色に見える？」

R7年2月21日 いちご組

カラーセロハンを散歩に持っていき、公園の自然物と組み合わせて遊んでみました。



「みどりいろだ」



「みどりあった」



カラーセロハンをもって
じっくり花壇の中をみて



「しらべてみよう」



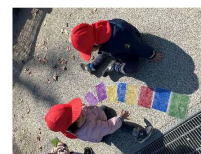
「みどりおなじだ」



「しらべてみよう」



「みどりはっばわかるね」



5種類のカラーセロハンを公園の中に置いてみると、最初に緑色を選び花壇へと向かっていました。落ち葉の中にある緑の葉を見つけ、緑のカラーセロハンを自分の目の前に持って来たり離したりを繰り返して、自分の目を見た時とカラーセロハン越しに見た景色の変化を探究していました。じっくり見た後は、周囲の景色も同じように、自分の目とカラーセロハン越しの見え方を比べることを始めていました。

カラーセロハンを持ち歩く子が少なくなると、集めて並べて地面の模様を見比べ始める子もいました。

自然物と色を組み合わせた遊びの中で、何かと比べてみようとする姿が見られるようになり、「なんだろう」「もっとしりいたい」などの心をこれからも大事に関わって行きたいと思いました。

振り返り

地面にカラーセロハンを置くと、好きな色を持ち歩きこれまで同様に落ち葉や石に被せたり上に乗せたりしていた。カラーセロハンを自分の目に当てたり離したりして周囲の景色を見て「あかにみえるね」「あおになった」と気づきを言葉にしていた。色を変えてみる子もいた。

最初から緑のカラーセロハンだけを持ち歩く子は、花壇にあった緑の葉っぱにかざし「しらべてみよう」と言いカラーセロハンから見た色と何もかざさずに見た色の違いをじっくり見比べていた。

活動①②を通して、自然物と素材を組み合わせた遊びは、自然物と色から色を通した自然物へと視線が変わっていったように思った。また、色と色を比べてみるという見方も加わっていた。どんなことに興味関心を持ち、どんな素材と出会うかで表現も豊かになるのだと思った。



令和7年2月26日(水)・27(木) プロジェクターを使用して、職員と共有し、質疑応答を行った。

(感想)

- ・言葉での表現はまだ少ないと思うが、自然物とカラーセロハンの組み合わせた遊びは、様々な表現が見られて面白いと思った。
- ・実際画用紙上に自然物を置いている所を見たが、改めてテーマや内容を聞いて、自然物とカラーセロハンを組み合わせることは難しいように感じていたが面白い掛け合わせだと感じた。わくわく感があった。
- ・自ら発見できるような働きかけや問いが工夫されていると思った。
- ・カラーセロハンをケースに入れて持ち歩いたのはいいと思った。
- ・部屋と外で見え方が違っていいと思った。(光るの透け方など)
- ・楽しそうだった。
- ・白画用紙に葉っぱを乗せるのはいいと思った。各クラス取り入れてみたいと思った。
- ・活動が終わった後の色への気づきが深まっているように感じた。
- ・カラーセロハンを用意したことにより、より色への興味が広がっていたように感じた。
- ・子どもたち自らが発見していたところがいいと思った。

(質問)

- ・地面に先に置いておいた画用紙に子どもたちはすぐに気づいたのか？
→気づく子と気づかない子がいた。気づいた子の姿に気づき他の子も関心を持ち始めていた。
- ・地面に置いた白画用を他の遊びに使う子はいなかったか？
→いつも室内で絵を描くことをしていて、自然物を置いている子は同じような感覚で色を乗せていたように思う。
白画用紙を持ち歩く子はいたが、持ち歩いた先で見つけた自然物を乗せていた。
- ・カラーセロハンの色はどのように選んだか。
→子どもたちが理解していたり、関心がある色を絞って選んだ。



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋2-12-16 明和ビル7階
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ茗荷谷駅前園

〒112-0002
東京都文京区小石川5-3-2 エイト印刷ビル2階
TEL:03-5615-8798
FAX:03-5615-8799